

学びの森みどろ MAP

ガイドウォークでしか入ることができない学びの森。
そのみどろを、インタークリターならではの視点で特別にご紹介！



那須平成の森夏のできごと(6月~8月)

7月 「ビオトープ池再生プロジェクト！」



2015年に造成したビオトープ池ですが、台風や流入した砂利の影響でダメージが溜まってしまった。そこで今回は砂利などを取り除き、さらに池の生き物達を護る為の柵(ヘッジロー)造りを行いました！今年の7月は梅雨が長く、連日雨続きでしたが、幸いにも当日は晴天。参加したのは皆さん親子で、最初に池にはどんな生き物がいるか観察した後、彼らの為に柵を作ります。

今回の柵は釘や繩を使わない全て木製で、親子で協力して伐った樹を使い、並べた杭に絡ませるように互い違いに横木を積み上げていきました。皆で造成したビオトープ池、これからさらにたくさんの生き物が集まる池にしていきたいです。(檜山)

8月 「チョウにとって那須平成の森ってどんな場所？～大人の自由研究～」

誰もが一度は触れたことのある昆虫、チョウ。実は、ある場所で見られるチョウを調べることで、その環境を知ることができます（トランセクト調査といいます）。今回は、那須平成の森で見られたチョウから、この森がどんな場所なのか知ってほしいと思い実施しました。

前半は室内で調査方法やその意義、何故チョウを利用するのかなどを話し、後半は実際に森へ出てどこにチョウがいるのか探索。結果、曇天ながらアサギマダラやヒカゲチョウを見る事ができ、その2種や事前に確認できたチョウの指標から、那須平成の森は里山の様な環境である事が分かりました。(西垣)

今は… よさこし道 カナルートです

たくさんの巨木のあいだを歩きます。
地面は落ち葉でふかふかです。



余笠新道は昭和天皇が昔、歩かれていたルート。
将来、清森亭まで延伸する予定です。

～フィールドセンターの展示をいくつかご紹介します！～

第3回目 葉っぱの血管？葉脈がくっきりだ！

葉っぱを目を凝らして見てみると、植物の種類ごとに葉脈のデザインが全く違うことに気が付きます。陽にかざしてみると、更にはっきり、くっきり葉脈が…。顕微鏡を覗いているようで不思議ですが、何よりも観ることが楽しくなってきます。

葉脈は、根から吸い上げられてきた養分や水分を、葉っぱの隅々まで運ぶ大事なパイプ。動物の血管と同じ働きですね。(若林)



▲葉脈は網の目のように張り巡らされている



その⑥「ライトトラップ」に注目！

那須平成の森では、昆虫の調査・展示作成のため
「ライトトラップ調査」を今年度から始めました。

ライトトラップとは、名前の通りライトの光に引き寄せられた昆虫を観察することができるものです。この調査の醍醐味は、昼間はなかなか見ることができない甲虫（クワガタムシやカミキリムシ）が見られるかもしれないという部分です！

8月の頭に実施した際は甲虫が多く集まりました。アカアシクワガタやクロカミキリなどが訪れ、このトラップの有用性を改めて感じました。今後も9月頃まで続け
ていき、那須平成の森ならではの昆虫を紹介できればと思います。(西垣)



アカアシクワガタ